学校番号	3030

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	音楽Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「ＭＯＵＳＡ１」　（教育芸術社）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

生涯を通して芸術に親しむための音楽的成長をめざします。歌唱・合唱では呼吸法や発声法、視唱力を身につけ、表現力を養いましょう。器楽では基本奏法を身につけ、豊かな音色を模索しましょう。これらの音楽活動を通して音楽理論の基礎となるリズム・音程・コード理論を学習し、実際に使えるようになりましょう。基礎力を身につけたうえで自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫すること、お互いを尊重し、協力しながら発表会やアンサンブルを作り上げることが目標です。

2　学習の到達目標

幅広い音楽活動を通して音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を育成することをめざす。
【知識及び技能】　曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付ける。
【思考力、判断力、表現力等】　自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫すること、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】　主体的・協働的に幅広い音楽活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、自己の音楽表現を粘り強く創意工夫する態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。知識 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。技能	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもってどのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながら良さや美しさを自ら味わって聴いたりしている。	その題材の学習に粘り強く取り組み、扱う教材曲や曲種等の特徴に興味・関心を持ち、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	リズム基礎の理解	【器楽】 「Plymouth　Rock」	a:【知①】曲想と手拍子や足踏みの音色や奏法との関わりについて理解している。（器楽） 【技①】リズムを読譜し、表現することができている。創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な曲にふさわしい奏法、身体の使い方、他者との調和を意識して演奏する技能を身に付け、演奏している。 b: 音色、リズム、速度、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 c: 音色、リズム、速度、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら他者との調和を意識して演奏活動に取り組もうとしている。	観察 ワークシート	観察 ワークシート	観察 ワークシート
	歌唱基礎	【歌唱】 発声の基礎 校歌、教科書の曲を楽しく歌う。	a:【知】様々な表現形態による歌唱表現の特徴について理解している。 【技】姿勢や呼吸法など身体の使い方の技能、他者との調和を意識して歌う技能を身に付け、歌唱で表している。 b: 曲の構成を理解し、その効果を感受しながら、意図的に表現している。 c: 音楽を幅広く様々な視点から捉えようとすることに関心をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	観察 ワークシート	観察 ワークシート	観察 ワークシート

前期	キーボード弾き語り	【器楽】【創作】 音程、コード理論を学ぶ。課題曲(選択)のコード伴奏を作り、キーボードで弾き語りをする。	a:【知】コードの構成音、音型、リズムなどの特徴、構成の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解している。(器楽・創作) 【技①】コードを弾くための奏法、読譜力、運指が身についており、弾き語りにふさわしい発声で創意工夫をしながら表現できている。(器楽) 【技②】創意工夫を生かしたコード伴奏を作るために、反復、変化などの手法を活用して音楽をつくる技能を身に付け、創作で表している。(創作) b:【思①】音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。(器楽) 【思②】音型、リズム、テクスチュア、強弱、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように伴奏を創作するか表現意図をもっている。(創作) c: コードやキーボードの奏法に関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。(器楽・創作)	実技テスト 振り返りシート	実技テスト 振り返りシート	ワークシート 実技テスト 振り返りシート 観察

前期	混声四部合唱	【歌唱】 「群青」 「言葉にすれば」	a:【知】曲想と音楽の構造や歌詞との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果について理解している。 【技】創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。 b: 音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて独自の表現意図をもっている。 c: 曲想と音楽の構造や歌詞との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果に関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	実技テスト 振り返りシート	実技テスト 振り返りシート	ワークシート 実技テスト 振り返りシート 観察
後期	芸術鑑賞	【鑑賞】 芸術を自由に鑑賞し、芸術鑑賞レポートを提出する。	a:【知】鑑賞した芸術の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解している。 b:鑑賞した芸術の特徴や形式を知覚し、それらの働きを感受しながら知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、芸術表現の共通性や固有性について考え、芸術のよさや美しさを自ら味わっている。 c:鑑賞した芸術の特徴と文化的・歴史的背景との関わり、及び芸術表現の共通性や固有性に関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	芸術鑑賞レポート	芸術鑑賞レポート	芸術鑑賞レポート

後期	クラシックギター弾き語り	【器楽】 ギターコードで弾き語りをする。	a:【知】ギターの調弦方法、構え方、ギターコードの構成音、運指、読譜、ストローク奏法について理解している。 【技】ギターの調弦方法、構え方、ギターコードの構成音、運指、読譜、ストローク奏法が身についており、弾き語りにふさわしい発声で創意工夫をしながら表現できている。 b:音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 c:曲想とギターの音色や奏法との関わりに関心をもち、楽しみながら主体的にギターの学習活動に取り組もうとしている。	実技テスト 振り返りシート	実技テスト 振り返りシート	ワークシート 実技テスト 振り返りシート 観察
	三線弾き語り	【器楽】 三線の基本奏法を習得し、「島人ぬ宝」「涙そうそう」などなじみのある曲を弾き語りする。	a【知】三線の調弦方法、構え方、運指、工工四の読譜、奏法について理解している。 【技】三線の調弦方法、構え方、運指、工工四の読譜、奏法が身についている。 b:三線の音色と奏法の関わり、リズム、速度、旋律、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 c:三線の音色と奏法との関わりに関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	実技テスト 振り返りシート	実技テスト 振り返りシート	ワークシート 実技テスト 振り返りシート 観察

後期	ミュージカルに挑戦	【歌唱】【鑑賞】 ミュージカルを DVD 鑑賞し、そのなかから抜粋して歌う。	a:【知①】曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解している。（歌唱） 【知②】ミュージカルの特徴と他の芸術との関わりについて理解している。（鑑賞） 【技】創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。（歌唱） b:【思①】音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。（歌唱） 【思②】音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、音楽表現が舞台芸術のなかでどのような効果を与えているのかについて考え、音楽のよさや美しさを深く味わって聴いている。（鑑賞） c：曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わりに関心をもち、主体的・協働的に歌唱・鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。（歌唱・鑑賞）	ワークシート	ワークシート	ワークシート 観察

後期	芸術文化発表会	【歌唱】【器楽】【鑑賞】 授業で取り組んだ音楽を発表する。 書道・美術選択生の作品を鑑賞する。	a:【知①】曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解している。（歌唱・器楽） 【知②】書道・美術と音楽との共通性や固有性を理解している。（鑑賞） 【技】創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な発声や技能を身に付け、表している。（歌唱・器楽） b：【思①】音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するか表現意図をもっている。（歌唱・器楽） 【思②】書道・美術の特徴や形式を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、芸術表現の共通性や固有性について考え、芸術のよさや美しさを自ら味わっている。（鑑賞） c：曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わりに関心をもち、主体的・協働的に歌唱・器楽・鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。（歌唱・器楽・鑑賞）	振り返りシート 鑑賞レポート 観察	振り返りシート 鑑賞レポート 観察	ワークシート 振り返りシート 鑑賞レポート 観察

後期	班別自由演奏発表に向け、取り組む	【歌唱】【器楽】【創作】【鑑賞】 自由課題の発表 （曲、楽器編成、アレンジ等、各グループで決める）	a:【知】曲想と楽器の音色や奏法との関わりを理解している。（歌唱・器楽・創作・鑑賞） 【技①】創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、他者との調和を意識して演奏する技能、及び器楽アンサンブルの表現形態の特徴を生かして演奏する技能を身に付け、演奏で表現している。（歌唱・器楽） 【技②】音型、リズム、速度、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように楽曲の雰囲気にあった編曲をするか表現意図をもっている。（創作） b:【思①】音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏・編曲するかについて表現意図をもっている。（歌唱・器楽・創作） 【思②】音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わり、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。（鑑賞） c：曲想と楽器の音色や奏法との関わり、及び他者との調和や表現形態の特徴を生かして演奏・編曲することに関心をもち、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。（歌唱・器楽・創作・鑑賞）	ワークシート 発表 振り返りシート	ワークシート 発表 振り返りシート	ワークシート 発表 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度